

知・技の創造

△42△



7日午前 さいたま市西区西大富
宮4丁目

ンショーンや戸建て住宅の建設
が進み、子育て世代を中心とした
規住民が増加している。これ

6台確保した。主要商圏は周辺
3キロ圏内の約5万7千世帯を
想定。同圏内に多い60歳以上、

水に濡れた苔はなぜ滑りやす
いのか。そのメカニズムが
見つかりませんでした。そこ

で、石けん性質の似た基礎上に
苔を生やす必要があります。

環境・資源的側面で有利な材
料であることは間違いないあ
りますが、『当分』というの

ワインを軸に、ワインやチー
ズなどの関連食品の販売を押し
進めます。(小林哲伸)

も安定した受注を維持し、純

繊維

(2)

△2

15億

円(一)

万円

0万円

△1

0.9

1.0

など

△1

1.5

億

△2

21億

%増

5億

△3

7.3

機器

平岡 尚文 総合機械学科教授



ひらおか・なおみ 京都
大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。株式会社東芝を経て2003年よりものづくり大学専門講師として、ライボロジー、機械要素、機械設計。

雨の日の苔はなぜ滑るか

ひらおか・なおみ 京都
大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。株式会社東芝を経て2003年よりものづくり大学専門講師として、ライボロジー、機械要素、機械設計。

取上げる所でしたのです
が、残念ながら答えたんだ
着くまではまだ時間がかかる
手が生き物であるらしいです。
おつと画策してます。

■水への期待
この程度滑りやすいのか、
ポスト鉱油の1番手はおそらく
植物系油であり、水は上にもいくつか検討を行ってい
ます。今後の展開に期待く

化石燃料の消費低減が進め
られる中、鉱油が大半を占め
る潤滑油の消費は、横ばいか
は当分心配しないと思わ
れますが、「当分」というの
はあつといふ間に過ぎ去ると
はあります。これが経験知です。

■ポスト鉱油

当研究室は摩擦・摩耗・潤
滑(いわゆるハイボロジー)
屋であり、このよだれ腺から
いポスト鉱油を検討する中、
潤滑剤としての水を改めて評
価してみました。条件の一つとして「雨の日の
再生が多く、潤滑油に再生さ
れる量は非常に少ないよど
す。」
燃料としての消費低減に伴
い、将来石油の精製量が減つ
てしまふ。石油精製の産物で
水は粘度が小さいため、油に
苔(「カ）」に着目しました。を調べた範囲では、間接的に
います。そのため、試験装

水は最も親しい液体であります
が、苔は育たず、代
りにカビが繁殖する事態とな
ってしまいました。

今は育成は休止し、学生が

自宅の庭で発見した放置プロ

100gを超えるセコイヤ

木に自然繁殖している苔

ギがてっぺんまで水を吸い上

げるのにも、水の特殊な性質

を使っているようです。この

性質を使ってうまく潤滑でき

ないか、当研究室では苔以外

植物系油をちゃんと測

るところから始めました。

この潤滑性の低さに加え、錆

ます。今後展開に期待く